

# シルバー よりのい

## 1年後に迫ったインボイス制度 = 消費税でシルバーが大ピンチ!!

令和元年に消費税が引き上げられましたが、8%の軽減税率と10%の2種類の税率区分が混在することから、消費税の透明性を図ることを目的に、令和5年10月からインボイス制度(適格請求書等保存方式)が導入されることとなりました。

この制度は、消費税の不正防止に加え、**益税抑制**を目的にしていますが、正式導入されるとシルバー人材センターにとって大きな問題が生じます。

益税とは、消費者が支払った消費税が国などに納められず、事業者の手に合法的に残ること。  
シルバー会員の配分金に含まれる消費税がこれにあたる。

### ▶ インボイス制度で何が変わる……? センターが納税!

シルバー人材センターでは、発注者から支払われた代金のうち、事務費を除く全額(労賃+消費税10%)を、配分金として会員に支払っています。

本来、会員が受け取った消費税は国に納付しなければなりません。シルバーの会員は年間課税売上高が1,000万円以下の個人事業主のため、消費税の納付が免除されています。これが益税です。

現在の制度では、シルバー人材センターが会員に支払った配分金に含まれる消費税は、全額仕入控除できるため納税義務はなく、事務費に含まれる消費税だけを納めています。

しかし制度が変わると……、会員が課税登録事業者にならない限り、仕入控除ができないためシルバー人材センターが支払った、会員の配分金に含まれる消費税を納めなくてはなりません。

### ▶ 納税額はどのくらい……? なんと、年額1350万円!

令和3年度決算で見ると、全会員への配分金は約1億4700万円ですので、この配分金に含まれる消費税は、なんと1,350万円。

完全実施までには経過措置がありますが、シルバー人材センターには財源はありません。大ピンチです。

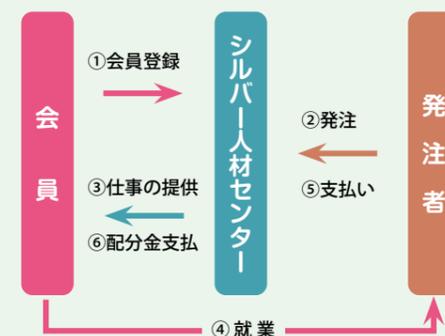
### ▶ ピンチを乗り切る方法は……? あるにはありますが…!

この大ピンチを乗り切るには、いくつかの方法があります。

- ① 会員全員が免税事業者から外れる事業者登録を行い、受け取った消費税を会員が納める。
- ② 配分金に含まれる消費税を差し引き、センターが納税する。
- ③ 国・町の補助金増額。
- ④ 事務費を10%から段階的に引き上げる。……などの方法があります。

### ▶ 制度開始に向けた方策は……? 最善な方策を方針決定

いくつか方法がありますが、会員の収入減は避けたい。税補填のための補助金増額は本末転倒。事務費の引き上げは、発注者への負担が増え、顧客離れが不安材料など……課題が残されています。今後、シルバー人材センターとして最善な方策を検討し、制度開始までに方針決定していく予定です。



シルバー人材センターは、健康で働く意欲のある高齢者で構成され、地域に貢献することを目的に設立された公益社団法人です。寄居町在住で原則60歳以上の元気な方を募集していません。ぜひ一緒に働いてみませんか。  
センターでは、毎月、第一、第三金曜日の午前10時から、入会説明会を開催しています。

会  
員  
募  
集

**理事長ご挨拶**



理事長  
津久井幹雄

会員皆様には、平素より寄居町シルバー人材センターの運営に、格別なるご理解とご協力を賜わり心より厚く御礼申し上げます。

お蔭をもちまして、当センターの諸事業も概ね順調に進み、去る6月29日に開催した令和4年度定時総会においては、上程した全議案をご承認いただくことができました。

出席いただきました会員並びに委任状を提出いただきました会員皆様に改めて感謝申し上げます。

さて、シルバー人材センターは、就業機会の提供などにより高齢者の社会参加を促進し、生きがいと健康の保持増進、ひいては地域社会の活性化、介護・医療費の削減に大きく貢献しております。

寄居町シルバー人材センターにおいても、約360名の会員の方々が「自主・自立、共働・共助」という理念のもと、社会の担い手として活動されており、自分の体力・能力及び希望に応じて、

明るく元気に、生きがいをもって、活躍しております。

しかしながら、ここ二年あまりは、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う経済停滞の影響を受け、受注件数・契約金額ともに、右肩下がりの状況にありましたが、コロナとの共存戦略の方針により一部持ち直しの状況も見られるようになりました。

現状は、オミクロン株の出現など依然として予断を許しませんが、今後は、感染リスクを抑えながらシルバー活動を継続させる取り組みも重要となってまいります。

私たち役員一同は、地域や会員の皆様への感謝の気持ちを忘れずに、地域に貢献し、地域の皆様に喜ばれ信頼される存在であり続けるよう、また、会員にとって魅力あるセンターとなるよう、鋭意努めてまいります。

さらに、新たな会員、特に時代の要請である女性会員の入会促進や新規事業の展開も図ってまいります。

結びに会員皆様並びに関係各位のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。

**令和4年度執行体制**

定時総会・理事会などにより令和4年度の執行体制が決まりました。

(順不同・敬称略)

**役員**

- 理事長 津久井幹雄 (特別会員)
- 副理事長 八木 弘 (会員)
- 専務理事 轟 幸男 (事務局長)
- 理事 八木 昇 (会員)
- 理事 横田 勝巳 (会員)
- 理事 神田加代子 (会員)
- 理事 田嶋美穂子 (会員)
- 理事 中島 一好 (会員)
- 理事 千島 政昭 (会員)
- 理事 高田 佳二 (老ク連合会長)
- 理事 飯屋 浩二 (連合区長会長)
- 理事 池田 俊治 (会員)
- 理事 角田 真一 (町福祉課長)

**安全適正就業委員**

- 委員長 徳丸 義秋 (地域組織)
- 副委員長 中島 一好 (理事選任)
- 委員 千島 政昭 (理事選任)
- 委員 杉田 昇 (地域組織)
- 委員 大久保郁子 (地域組織)
- 委員 石井 誠規 (地域組織)
- 委員 佐藤 博 (地域組織)
- 委員 田島 博之 (地域組織)
- 委員 吉田 正美 (地域組織)

**地域班長**

- 市街地 須々木昭夫
- 西部1班 志村 英明
- 西部2班 大森準一郎
- 桜沢1班 大谷 誠一
- 桜沢2班 佐藤 宏
- 折原1班 関根 好八
- 折原2班 福田 憲悦
- 鉢形1班 金子 静夫
- 鉢形2班 石井 誠規
- 鉢形3班 吉田 勇
- 男舎1班 中島 敏樹
- 男舎2班 浅見 信男
- 男舎3班 大久保貴美男
- 男舎4班 橋本 秀樹
- 男舎5班 関根 一郎
- 男舎6班 時田 弘行
- 用土1班 白澤 賢治
- 用土2班 栗原 初男

**定年後の第二の人生スタート**



中村 芳夫  
(桜沢1班)

2019年5月、妻の両親が他界し、空き家となっていた桜沢の実家に、さいたま市から越してきました。

家の中の片付けから始めましたが、家財道具以外にも沢山の物があり、妻と相談しながら処分しました。大変でしたが、ようやく整理がつき、この町で新たな生活をはじめました。

桜沢に住んで間もない7月、シルバー

人材センターのことを知り、金曜日開催の入会説明会に参加。私に何ができるか不安もありましたが、職員の説明をワクワクしながら聞いていました。

色々な仕事があるなかで、まず思ったのが、「植木剪定は無理」。「これだ」と思ったのが、私の手先の器用さを活かせる襖や障子、網戸の張替作業でした。幸いにも、張替作業のできる会員が必要とのことで早速入会。あれから三年が経ち、すっかり仕事にも慣れてきました。

私の仕事は、依頼を受けると、お客様に連絡し、お宅を訪問。内容を確かめ建具を預かり、丁寧に作業して納品します。確認印をいただき、事務所に作業報告書を提出して一件落着。

定年退職後、65歳からの第二の人生を日々楽しく過ごしています。

**人に恵まれ、助けられ、支えられ**



八木 昇  
(男舎1班)

私は昭和37年、横須賀の陸上自衛隊武山教育隊に入隊しました。その後、昭和40年に朝霞駐屯地に部隊勤務し、平成7年に54歳で定年退官。振り返ると瞬間に過ぎた32年間でした。

退官後は、信用金庫などの民間企業も経験し、平成18年、知人に勧められシルバーに入会しました。

シルバーでは主に、施設の管理業務に就いていましたが、仕事を通して、大勢の人と出会えたのも、貴重な財産の一つであると思います。

八王子を離れ、寄居に居を構えたのは平成4年。右も左もわからない土地でも、道路・衛生委員などの区役員や団体の役職を任せられ、充実の日々を過ごせたと感じています。

寄居町に来てからも、人に恵まれ、助けられ、支えられたからこそ、今の私があると感謝の日々です。

今後とも理事としてシルバー人材センターの健全運営に、微力ながら尽くしていきたいと考えています。

**私の二刀流**



福島 明  
(桜沢2班)

平成27年にシルバー会員になり、下水道課の開閉栓業務に就きました。量水器の開閉、状況により本体の交換や再検針等に対応しています。

寄居町の地理には自信がありましたが、量水器の設置場所は個々異なるので想定外で、見つけるまで大変

苦労することがあります。

業務のない日は、鐘撞堂山に登り、東京都心のビル群、スカイツリーの眺望と四季折々の野草から元気を貰っています。

しかし最近、希少な野草が持ち去られる事案や、案内板、防護ロープ等が壊されたりするなど、マナーの低下が目立つのが残念でなりません。

鐘撞堂山の野草は、野で咲いてこそ人を魅了するのです。

これからも、人との交流を深めながら里山の自然を守り、私の二刀流は継続されていきます。

**仕事は生き甲斐 規則正しく前向きに**



齋藤 かほる  
(用土1班)

入会して12年目。ダイカスト工場の清掃員として、5時間勤務で週5日働いています。清掃員がない工場だったので、最初はとても大変でした。

私は会社に役立つ人間になろうと自分なりに工夫し、基本となる身だしな

みは、白いシャツに黒ズボンに統一。髪はきちんと結び、欠勤はしないなど、社員の皆さんが気持ちよく過ごせるよう考えました。

今では、約130人の従業員も気軽に声をかけてくれるようになり、まるで私の子どものような感じです。

これまで、朝起きて仕事に行きたくないと思ったことは一度もなく、毎日楽しみに出かけています。

私の趣味は30年続けている日本舞踊と3年ほどのカラオケ教室で、毎朝出勤前の踊りの稽古と就寝前の運動、これは欠かせません。

私の仕事と趣味に応援・協力を惜しまない主人と、会社、シルバー人材センターに感謝しています。

天候に恵まれた寄居町に感謝



小櫻 邦彦  
(男衾3班)

寄居町に移住して24年になりました。晴れの日が多く天候に恵まれ住みやすい街です。  
私が会員になったのは平成21年。現在は、三日に一日のローテーションで、男衾コミュニケーションセンターの施設管理業務に就いています。規則

正しく働ける場所があることに感謝しています。

寄居町に移り住んで知人も増え、家の前の畑を借りることができ野菜作りが趣味になりました。

はじめの頃は苗を購入。キュウリやナスなど数種類の野菜作りでしたが、今では、種をまき苗を育て、成長の過程も楽しみながら、春夏秋冬二十数種類の野菜を作っています。

野菜作りは、植物や土に触れることで脳を活性化させ、認知症予防にもなるとのこと。これからも健康で雨読晴耕、無理をせず楽しみながら野菜作りを続けていこうと思います。

元気で働くことに感謝



松本 文平  
(折原1班)

地元の小学校で用務員をして7年。今は、植木草刈班のフリーで仕事を2年目になります。

植木の手入れは、まだまだ半人前で、すべてが勉強です。特に松の手入れは難しいです。  
ある植木職人に「見ているだけで

は覚えられないので、自分で経験して覚えた方がいいよ。」と言われました。植木の手入れは、その人の性格が出るようです。手入れの基本は、「毎年枝は伸びるので小さく仕立てること」だそうです。

今は、仕事をしてお客さんが喜んでくれること、自分が手を入れた植木が、翌年どうになっているかを見るのを楽しみにして仕事をしています。

いつまでも長く、シルバー人材センターで健康に働けるよう、頑張っていきたいと思えます。

令和4年度

定時総会を開催

令和4年度の定時総会は6月29日シルバー人材センター2階で開催されました。

当日は、新型コロナウイルスの感染状況に配慮し、出席者を地域班長、安全適正就業委員、永年勤続表彰受賞者に限定した総会となりましたが、議決権を有する会員361名に対し、委任状277名を含め316名が出席しました。

津久井幹雄理事長、福島勤副町長、津久井康雄寄居町議会議長の挨拶のち議事に入り、上程した14議案はすべて承認されました

報告事項

- 1 監査報告
- 2 令和3年度事業報告について
- 3 令和4年度事業計画について
- 4 令和4年度収支予算について

議事

- 第1号議案 令和3年度収支決算
- 第2号議案 役員を選任について
- 第14号議案 役員を選任について

21名に

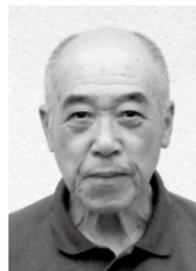
永年勤続表彰

定時総会の席上、センター表彰規程に基づき、永年勤続表彰（勤続10年）が行われました。

今年度の受賞者は平成23年4月から平成24年3月までに入会した21名。向井友満（折原1班）さんが代表して表彰状を受領した後、田島民子（男衾6班）さんが挨拶し、会場の皆さんから温かい拍手が送られました。



入会のキツカケは私の一言



須々木 昭夫  
(市街地1班)

会員になり6年目に入りました。入会のキツカケは、秋祭りの時の「来年3月で定年なんだ」という私の一言で、町内の先輩から会員登録を勧められました。  
辛い仕事もすぐに紹介していただき、ゴルフ場でのバッグ受け渡し業

務に4年間従事してきました。

今は、コロナの影響で担当業務がなくなり、単発で仕事を紹介していただいています。

「歩くこととゴルフ」が趣味の私は、寄居町のプラス1000歩運動にも登録し、歩数計を身に付けて、一日1万歩を目標にしています。

ゴルフ場でも歩くことを第一に、スコアは気にせず楽しんでいきます。今後も、仕事をしながら趣味の時間を大切に、健康で楽しく過ごせたらと願っています。

シニアの一人として社会参加



杉山 保  
(男衾1班)

私がシルバー人材センターの会員として最初の就業先は、男衾中学校の用務員でした。令和2年12月に5年間の任期満了で卒業（退職）いたしました。  
卒業に際し、全校生徒による体育館での見送り、先生方からの寄せ書

き、就業中のスナップ写真等、心温まる送別をしていただいたこと大変われしく深く感謝しております。

現在は、土曜・日曜・祭日に毎日4日程度ですが、午前8時30分から午後5時15分まで、寄居町役場の日直として、各種届出の受領、庁舎業務について、電話でのお問い合わせへの対応処置等の業務に就業しています。

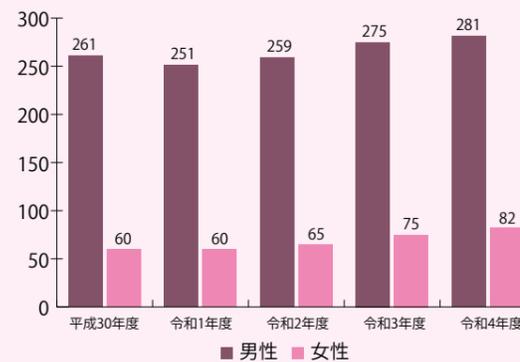
人生100年時代を迎え、私もシニアの一人として、健康に留意しながらも、微力ではありますが地域に貢献できることは幸いです。

令和3年度を振り返る

- 第1回植木草刈班安全教育 (4/28)
  - 監査会 (5/21)
  - 第1回県連合理事会 (5/25)
  - 第1回理事会 (5/28)
  - 定時総会・第2回理事会 (6/29)
  - 第3回理事会 (7/30)
  - 第1回安全適正就業委員会 (8/20)
  - 安全適正就業だより発行 (9/10)
  - 第4回理事会 (9/28)
  - シルバーだより発行 (10/1)
  - 第2回植木草刈班安全教育 (10/8)
  - 安全適正現場巡視 (10/14・15)
  - 県労働局経理事務指導 (10/25)
  - 県連合事務局長会議 (10/29)
  - 第2回安全適正就業委員会 (11/9)
  - シルバーカレンダー作成配布
  - 第5回理事会 (11/25)
  - 北部ブロック事務局長会議 (12/2)
  - 安全適正就業だより発行 (12/10)
  - 県連合安全就業推進大会 (12/15)
  - 第3回安全適正就業委員会 (1/21)
  - 第2回県連合事務局長会議 (1/27)
  - 第6回理事会 (1/27)
  - 安全適正現場巡視 (2/18)
  - 安全適正就業だより発行 (3/10)
  - 第2回県連合理事会 (3/16)
  - 第7回理事会 (3/25)
- ※ 入会説明会  
毎月第1・3金曜日に開催。



シルバー会員数の年度別推移 (単位:人)



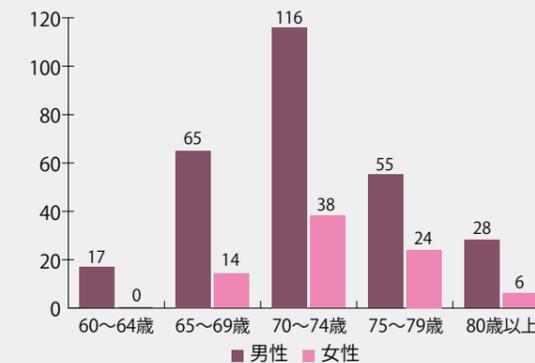
年度	男性	女性	計
平成30年度	261	60	321
令和1年度	251	60	311
令和2年度	259	65	324
令和3年度	275	75	350
令和4年度	281	82	363

(会員数は各年度末。令和4年度9月1日現在)

シルバー会員の男女別年齢構成 (単位:人)

年齢	男性	女性	計
60～64歳	17	0	17
65～69歳	65	14	79
70～74歳	116	38	154
75～79歳	55	24	79
80歳以上	28	6	34
合計	281	82	363

(令和4年9月1日現在)



過去5年間の契約額の推移

年度	契約金額(円)	契約金額の内訳(円)		
		公共	企業等	個人
平成29年度	192,111,253	56,713,812	107,426,620	27,970,821
平成30年度	189,349,043	60,217,011	100,236,706	28,895,326
令和1年度	182,570,989	60,919,750	93,272,038	28,379,201
令和2年度	166,464,501	45,423,412	87,179,843	33,861,246
令和3年度	174,603,640	43,908,325	97,367,201	33,328,114



豆知識 シルバー人材センター

シルバー人材センターとは、高齢者が働くことを通じて生きがいを得るとともに、地域社会の活性化に貢献する組織で、臨時的・短期的または軽易な業務を、請負・派遣の形式で行う公益法人です。

■就業は月10日週20時間内  
センターでは、企業や家庭、官公庁などから業務を受注し、高齢者に働く場として提供していますが、会員に提供する業務は、臨時的かつ短期的または軽易な業務です。会員の就業日数は、おおむね10日以内、または、週20時間を超えない範囲となります。

■複数で分担が基本  
このため、センターでの働き方は、現役世代の労働者などが1人で行う業務を、複数の会員が分担して行う方法(ローテーション就業)が基本となります。

■特例もあります  
就業の日数、時間の上限は、おおむねの目安のため、一時的に上限を超えて就業することがありますが、恒常的に超えることはできません。  
ただし、知事が認めた場合は、特例として、派遣と職業紹介に限り、週40時間まで働くことが出来るようになります。

群馬低山地獄の山行



金澤 俊明 (西部2班)

群馬百名山60座目、月夜野インター北方にある三峯山へ向かったのは、猛暑の8月5日でした。河内神社からは標高差300メートル。斜度も緩い、楽勝だ。だが、登りはなから靴やズボンの裾に山蛭が。喰いつく隙を与えぬようにと速足で登るが、途中で何度も気色悪さに耐えながら蛭剥がし。

汗まみれで辿り着いた山頂では、上半身を小虫が舞い、山蛭に噛まれた足首の血の匂いに蠅が群がる。長居は無用、汗が止まるのを待たず下山開始。露わな肌を襲う無数の蛇を追い払いながら山蛭に喰われまいと走る。携帯が鳴る。電波が悪く、走りながらの操作で分岐を見過ごした。「こんな沢通った記憶がない」。地図を見る。30分も走り下った道に戻るの辛い。漸く着いた登山口で無数のおぞましい山蛭どもを取り除く。が、汗流しに寄った日帰り温泉では、裸の躰にしぶとい蛭が三匹も吸血中。腕や脇腹はブヨの刺し痕。その後三日も痒みに苦しんだ。正に地獄の山行でした。

先生方の励ましを力に業務遂行



栗原 初男 (用土2班)

4月から寄居中学校の用務員として働いています。学校の環境美化と給食配膳が主な業務です。環境美化は、広い校内の除草や庭木の剪定、落ち葉掃除など。給食配膳は、給食センターから搬送される給食の入ったコンテナを一階から上の階へ上げ、給食後には、空コンテナを一階

に降ろす業務です。ある暑い日のこと、校庭の除草作業を終え、鍵を返しに職員室に入ると、「草だらけの校庭がすごきれいになりました。ありがとうございます。お疲れ様でした。」と先生から労いの言葉をいただきました。思ってもいなかった一言で、一日の疲れが吹き飛ばすように感じました。雑草の伸びはとても早く、一度刈り取っても数週間でもたれるようになりません。猛暑に加え、コロナ禍でマスクを着用しての作業の毎日ですが、熱中症とコロナ感染に注意しながら、先生方の声掛けを励みに、業務を遂行していきたいと思えます。

心は常に青春で



高須 修 (西部1班)

シルバーにお世話になって早5年目。仕事を通じて地域に貢献していると実感し、幸福に日々を送っています。私事ですが、ゴルフを始めて46年。いまだに満足するスイングに辿りついていません。今までのゴルフ人生を振り返ると、

トーナメントプロとして活躍できるまでには至らず、レッスンプロとして家族を養ってきました。しかし、老年期に入り物心両面で少しゆとりできたことで、また自分のゴルフに向き合える時間も持てるようになりました。そして、完璧なスイングを求め「あれやこれや」と考えていると、日常の煩わしさや心配事も忘れられ、比較的安心した生活を送れていると思う今日この頃です。体力は勿論ですが、シルバーの仕事はもとよりゴルフにおいても、なるべく長く「心は常に青春」であり続けたいと思っています。

少年野球の指導と審判

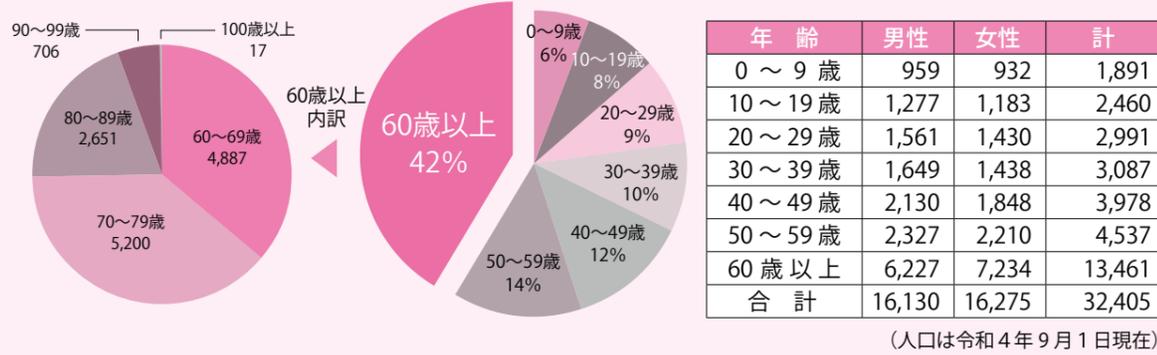


小林 章夫 (折原1班)

シルバー人材センターに入会して3年になります。仕事には大分慣れましたが、植木の剪定などは、まだまだ勉強中です。さて、私の生きがいと言えば、スポーツ少年団の指導者として、また、野球の審判員として子供たちと過ごすことです。

平成5年に長男が少年野球チームに入団したのがきっかけで、平成7年に指導者資格を所得しました。その後、チーム審判員として登録。平成17年からは埼玉県公認審判員となり、現在も続けています。先輩審判員に言われた言葉があります。「野球の審判をボランティアだと思わない。道楽だと思わない。」正に金言だと思えます。昨年春から孫も入団したので、また、楽しみが増えました。これからも、体力の続く限り頑張っていきたいと思えます。ちなみに、シルバー人材センター職員のご子息も我がチームの卒団員です。

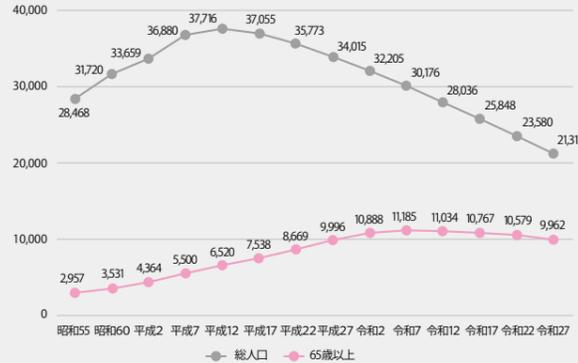
寄居町の男女別年齢構成 (単位: 人)



寄居町の人口の推移 (令和7年以降は推計)

年	総人口	65歳以上
昭和55	28,468	2,957
昭和60	31,720	3,531
平成2	33,659	4,364
平成7	36,880	5,500
平成12	37,716	6,520
平成17	37,055	7,538
平成22	35,773	8,669
平成27	34,015	9,996
令和2	32,205	10,888
令和7	30,176	11,185
令和12	28,036	11,034
令和17	25,848	10,767
令和22	23,580	10,579
令和27	21,313	9,962

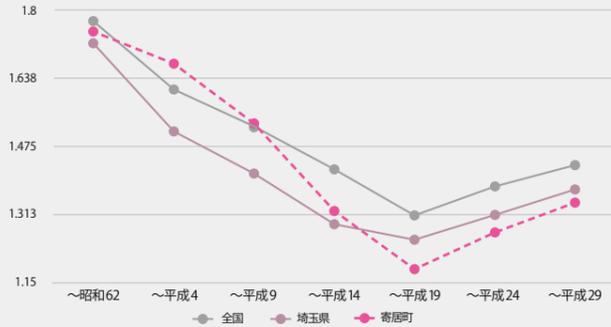
(出典: 第6次寄居町総合振興計画後期基本計画)



合計特殊出生率の推移

年	全国	埼玉県	寄居町
昭和58～昭和62	1.77	1.72	1.75
昭和63～平成4	1.61	1.51	1.67
平成5～平成9	1.52	1.41	1.53
平成10～平成14	1.42	1.29	1.32
平成15～平成19	1.31	1.25	1.18
平成20～平成24	1.38	1.31	1.27
平成25～平成29	1.43	1.37	1.34

(出典: 第6次寄居町総合振興計画後期基本計画)



センターでの働き方は、「請負」と「派遣」の2種類があります。

■請負は自分の裁量で  
請負は、センターが一括して発注者と委託契約を結び、会員に仕事を提供（紹介）します。

■派遣は指揮命令を受けて  
派遣業務は、センターが、発注者から業務を受注し、会員を発注者の事業所などに派遣する方法により業務を行う形態です。いきいき埼玉が派遣元事業主となり、発注者と労働者派遣契約、会員と雇用契約を締結します。

シルバー人材センターは、いきいき埼玉寄居町派遣実施事務所として、会員の派遣、事務処理を行います。

会員が発注者の指揮命令を受けて働く事が目的となり、会員は発注者から指揮命令を受けて働きます。

誰かのために何かのために

今年も猛暑の中、高校球児たちの夢の舞台「甲子園」で第104回全国高等学校野球選手権大会が開催され、仙台育英高校が、東北勢で初の頂点に立ちました。

この時期、毎年のことですが私の胸は高鳴りドキドキします。

田島 民子 (男衾6班)



かつて我が息子も、沖縄興南高校で三年間野球留学をしていました。あの時の涙、笑顔、感動、感激が走馬灯のように思い出されます。純粋な球児たちの白球かけた思いが、未来への希望につなげてくれるような気がします。

今の私にとって、これほど元気をいただけることはありません。

私も日々、若者たちにとって何か希望・勇気を与えられるものがないか模索しています。

「誰かのために何かのために」を常に頭におき、日々を送っていきたいと思っております。

私の仕事 楽しみ

9月1日現在、寄居町シルバー人材センターの会員は363名。いろいろな業種でお元気に活躍しています。そんな皆さんの仕事や趣味、楽しみなどについて紹介します。

私の趣味「道の駅めぐり」

私は、象ヶ鼻浄水場で水質検査を行っています。勤務は、3名シフトで午前8時から正午まで。休みの日には、月に一〜二回、目的地を特に定めず、気の向くまま車で出かけます。今年二月には、家を出て東に向かい、熊谷、行田と進み、加須の手前で左折し「道の駅はにゅう」に立ち寄りしました。

石田 鉄夫 (男衾2班)



ここでは、井沢八郎さんの「あゝ上野駅」のメロディが流れ、傍らには、羽生の作詞家「関口義明先生」を称える顕彰碑。碑には、羽生生まれの関口先生が、銀行員時代に作詞した「あゝ上野駅」が大ヒットしたとの碑文。

私は東京に憧れ、昭和44年に営団地下鉄（現・東京メトロ）に就職。当時、本社のある上野駅を利用するたびに、あの「あゝ上野駅」が流れていたのを覚えています。そして、希望に溢れた中高生を乗せた就職列車が、ホームに滑り込む白黒テレビの映像が、今でも目に浮かびます。

私は意外な体験をして「道の駅はにゅう」を後にし、車を走らせ家路につきました。

最高の仲間にもまれて

草刈/関根班（5名）の石井です。シルバー人材センター開催の植木剪定講習会が入会のきっかけです。実際は、ほぼ剪定なしの「四ツ目垣講習会」（笑い）。あまり興味がなかったのですが今も四ツ目垣は苦手。今年で5年ほどお世話になっていきます。

石井 誠規 (鉢形2班)



一緒に働く仲間は、現役時代それぞれの分野で活躍したエキスパートばかりで、草刈りはもとより私にとって教わることの多い勉強の毎日です。

仕事をするうえで大切なことは、まずお客様に喜んでいただくこと。そして一日を安全に終え、「充実した良い一日だったなあ」と思えること。「明日また頑張ろう」と思うこと。

わが班はお互いを尊重し、思いやり、助け合う。それが当たり前でできる一体感のあるチームです。

そんな最高の仲間にもまれて「支え合いながら仕事ができる感謝の毎日です。」

# お客様アンケート

高評価に満足せず  
さらなる向上を

シルバー人材センターでは、利用いただいたお客様の率直な感想を把握し、更なるサービスの向上を目指すため、お客様アンケートを実施しました。

アンケートの対象は、4月から7月までにシルバー人材センターを利用いただいた方々から、無作為に抽出した200名で、無記名による回答をお願いしました。

お褒めの言葉や様々な要望をいただきましたので、その集計結果をお知らせします。

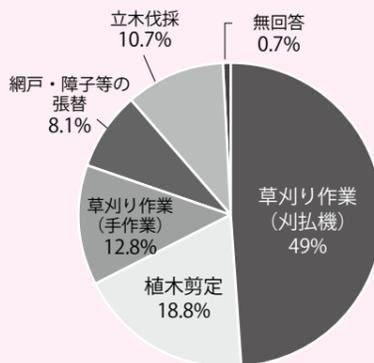
回収率は  
74.5%

アンケートをお願いした  
200名のうち74.5%にあたる  
149名の皆さんから回答を  
いただきました。ありがとうございました。

## 利用は除草作業がトップ

シルバーを利用した仕事の内容は、除草作業が最も多く、刈払機と手作業を合わせると92件、62%を占めています。次いで植木剪定の28件で、所有地や庭木等の管理にシルバーを利用していることが伺われます。

## シルバーに依頼した作業は

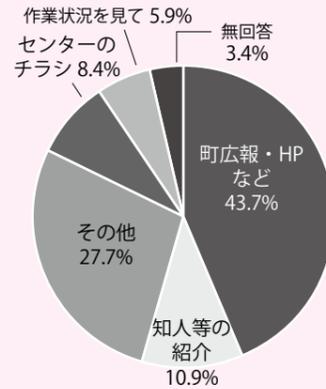


## ホームページや知人等の紹介で

利用者の皆さんがシルバーを知ったきっかけは、町広報誌やホームページが最も多く、次いで知人等の紹介となっています。

その他では、自分で調べた、自身がシルバー会員、どこの市町にもある。など多岐にわたっています。今後、広報への掲載やホームページの充実など、情報の提供に努めることが重要と考えられます。

## 何でシルバーを知りましたか



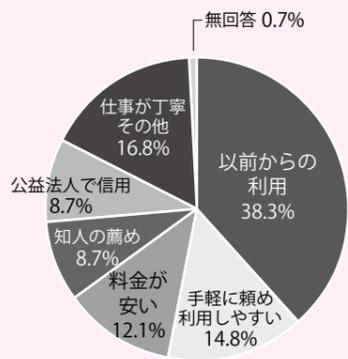
## 以前から利用している

シルバー人材センターを利用した理由では、以前から利用しているリピーターが57件、約38%を占めています。次に、手軽に頼めて利用しやすい、料金が安い、公益法人だから、知人の勧めと続いています。手軽で信用があり料金が安いということがリピーターの増加につながっているようです。

## アンケートの項目は11問

- 問1 依頼した仕事の内容は
  - ①草刈り(草刈機)
  - ②草取り(手作業)
  - ③植木の剪定
  - ④立木の伐採
  - ⑤農作業
  - ⑥植木の散水
  - ⑦障子などの張替え
  - ⑧床張り等の大工
  - ⑨家庭内ゴミの搬出
  - ⑩その他
- 問2 何でセンターを知ったか
  - ①広報・ホームページ等
  - ②チラシ
  - ③知人・友人の紹介
  - ④看板等を見て
  - ⑤その他
- 問3 利用した理由は
  - ①以前から利用
  - ②料金が安い
  - ③仕事が丁寧
  - ④知人の勧め
  - ⑤生きがいを支援
  - ⑥公益法人で信用
  - ⑦利用しやすい
  - ⑧他にない
  - ⑨その他
- 問4 料金は
  - ①安い
  - ②普通
  - ③高い

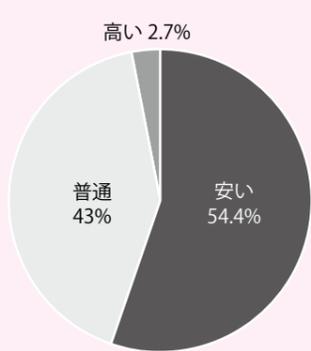
## シルバー利用の理由は



## 安いが54%、普通が43%

料金は、安い・普通と答えた方で約97%。かなりの満足度ですが、高いと答えた3%の方は、仕事量に比べ時間単価が高い、休憩時間に対して料金を支払うのは釈然としないなどを挙げていました。料金設定の事前説明も今後必要と思われる。

## 料金は安い?高い?



## 9割り近くが出来栄えに満足

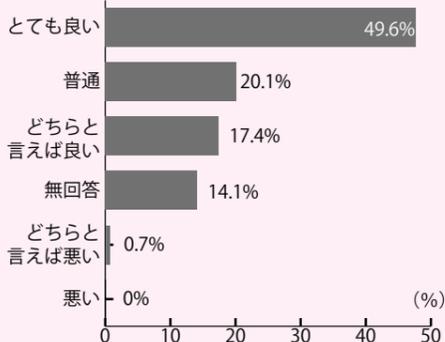
仕事の出来栄えは85%以上が満足、普通が10%で、不満と答えた3名は仕事が雑、技術・技能が低いが高不満の理由でした。



## 会員のマナーが悪いは一人

挨拶や言動など会員のマナーについては、65%がとも良い、良いでした。どちらかと言えば悪いは一人です。無回答は、町外等の方で作業中に会員と直接対峙しないため回答不能とのことでした。

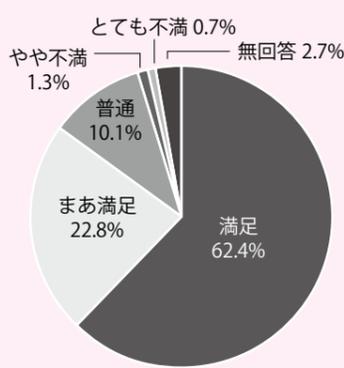
## 会員のマナーは



## 事務所の対応は合格点

事務所職員の電話や窓口での対応は、良い、まあ良いで約82%。合格点をいただきました。会員皆様に対しても、親切丁寧な接遇に努めてまいります。

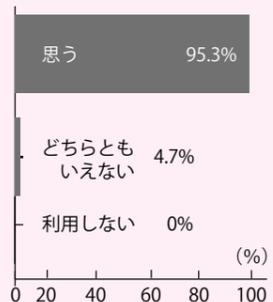
## 仕事の出来栄えは



## 95%が今後も利用

実に95%にあたる142人が今後もシルバーを利用すると答えました。どちらとも言えないがわずか5%、利用しないはゼロでした。

## 今後もシルバーを利用



- 問5 仕事の出来栄えは
  - ①満足
  - ②まあ満足
  - ③普通
  - ④やや不満
  - ⑤とても不満
- 問6 前問で不満と答えた理由は
  - ①仕事が雑
  - ②技術・技能が低い
  - ③仕事が遅い
  - ④その他
- 問7 就業会員のマナーは
  - ①とても良い
  - ②どちらかと言えば良い
  - ③普通
  - ④どちらかと言えば悪い
  - ⑤悪い
- 問8 前問で悪いと答えた理由は
  - ①言葉づかいが悪い
  - ②態度が悪い
  - ③守秘義務を守っていない
  - ④その他
- 問9 依頼時の事務所の対応は
  - ①とても良い
  - ②まあ良い
  - ③普通
  - ④やや悪い
  - ⑤悪い
- 問10 前問で悪いと答えた理由は
  - ①不親切
  - ②対応が遅い
  - ③言葉づかいが悪い
  - ④態度が悪い
  - ⑤その他
- 問11 今後も利用したいと思うか
  - ①思う
  - ②どちらとも言えない
  - ③利用しない